性暴力対応看護師（SANE）養成プログラム 2024
募集要項
～　一般の方　～

■はじめに

本プログラムは、令和元年 12 月に「職業実践力育成プログラム（BP）」として、文部科学省の認定を受けました。

文部科学省では、大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた、社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」（BP）として、文部科学大臣が認定しており、これにより、①社会人の学び直す選択肢の可視化、②大学等におけるプログラムの魅力向上、③企業等の理解増進を図り、厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携し、社会人の学び直しを推進しています。

■文部科学省ウェブサイト：職業実践力育成プログラム（BP）認定制度について

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/index.htm

■講座概要

1）教育目標・概要

性暴力対応看護師(以下、SANE)養成プログラムは、性暴力被害者の多様なニーズに対するケアを総合的に提供するために、構造化されたプログラムです。米国は、SANE プログラムが定着した病院では、司法面接のための環境が整っているため、性暴力被害者が警察に行く必要はなく、性感染症や緊急避妊の処方箋、医師による定期的なコンサルテーションなどが確実に提供されます。米国の国際フォレンジック看護学会(IAFN: the International Association of Forensic Nurses)は、SANE 教育ガイドラインを作成しました。2019 年には、日本フォレンジック看護学会は、IAFN の協力を得て、米国 SANE 教育ガイドラインに基づいて、小児、思春期、成人を対象とした内容を組み合わせた 64 時間のコアカリキュラムを提示し、日本のコースワークの基本としました。本 SANE プログラムは、コアカリキュラムに沿っています。

教育目標は、性暴力被害者に、高度な専門看護実践として包括的で患者中心のケアを提供できる

知識とスキルの習得です。SANE 教育コースと臨床スキルトレーニング終了時には、SANE は、急性期対応や法医学的検査、検体採取、身体所見などを記録するスキルに加えて、性感染症 （STD）やその他の非急性医療問題に関する情報、治療、紹介を提供するための知識とスキルを修得します。妊娠リスクの評価やリプロダクティブ・ヘルスサービスを含む治療選択肢や、アドボケイト、児童相談所、弁護士などを含む性暴力被害対応チームと協力して作業するための知識とスキルを修得します。

2）講義概要および受講を通して得られるもの

別紙「■性暴力対応看護師（SANE）養成プログラム 2024 シラバス」を参照

3）受講対象者

本領域に興味を持っている看護職 ／ 性暴力救援センター等で実践予定である看護職

愛知県性犯罪・性暴力被害者支援事業の対象である看護職 など

4）受講料

受講料には、講義テキスト代が含まれています【テキスト名:「フォレンジック看護（医歯薬出版）」（3,960 円/税込）】。

分類	金額① （受講料）	金額② （テキスト代）	受講料合計 （①+②）
一般	106,000 円	3,960 円	109,960 円（税込）

■教育訓練給付金申請について

本プログラムは厚生労働省の定める『特定一般教育訓練』（修了後受講費用の 40%を受講者に支給）の対象講座となっています（諸条件あり）。希望する方は**受講開始日の２週間前（9 月 20 日）**までに、お住まいを管轄するハローワークで受給確認等の手続きが必要です。本プログラムへの申込と共に、お早めに各個人でハローワークへお問合せいただき、手続きのながれを確認いただきますようお願いいたします。詳細は別紙『教育訓練給付金制度のご案内』を参照のほか、厚生労働省ホームージ等をご確認ください。

修了試験の結果および修了判定、修了書の送付は 2025 年３月を予定していますので、ハローワークのご担当者様へその旨お伝えください。

5）募集人員：60 名

6）開講期間：2024 年 10 月 5 日（土）～2025 年 1 月 19 日（日）

→詳細は「■講義スケジュール」参照

7）実施形態：Zoom を介したオンライン講義および会場集合型講義（RIFCR™研修 11/15、16 のみ）

※RIFCR™研修参加は 1 日のみ、大学で指定いたします

8）講義実施形態について

①オンライン講義

RIFCR™研修（11/15、16）**以外の 9 日程は**オンライン講義です。事前に Zoom アプリのインストールを済ませたパソコン（またはタブレット）をご準備ください。推奨環境等は下記のとおりです。

なお、現状把握のため、別紙「通信環境に関するアンケート（提出必須）」に回答いただき、提出をお願いいたします。

【参考】オンライン授業に使う端末及びネットワーク環境について（推奨）

○推奨機器：パソコンまたはタブレット（可能な限り、パソコンでの受講が望ましい）

パソコン	Windows10 以降（Edge、Google Chrome 最新版を推奨）
	MacOS 10.13 以降（Safari 最新版を推奨）
タブレット	iOS14 以降（Safari 最新版を推奨）
	Android8 以上（Google Chrome 最新版を推奨）

※上記の環境外での受講については動作の保証ができかねます。

お手数ですが、受講日までに環境を整えていただきますようお願いいたします。

②会場集合型講義（RIFCR™研修のみ）

名古屋市内の会議室で実施します。感染症拡大防止対策として、マスクの着用や消毒等の衛生対策、換気の徹底等を行う予定です。ご協力お願いいたします。

2 日程はどちらも同じ内容で、**指定された 1 日に**参加ください（受講生以外の一般申込者も受講します）。

＜日時および実施会場＞

実施日	時間	会場（最寄駅：名古屋駅）
11 月 15 日（金）	9:30～19:00 （昼休憩 1 時間）	ウインクあいち
11 月 16 日（土）		

9）修了要件および履修証明書・修了証の発行について

約 65 時間の講義出席状況および修了試験の内容を評価し、評価基準を満たした方は、学校教育法に基づく履修証明制度により、日本福祉大学から「性暴力対応看護師（SANE）養成プログラム 2024 履修証明書」を授与するとともに、一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター発行「SANE 修了証」をお渡しします（2025 年 3 月送付予定）。日本福祉大学による単位認定はありません。なお、履修証明書を紛失された場合等、再発行を希望される場合は再発行料（税込 2,000 円）が別途必要になりますので、お手元に届いた後は、大切に保管ください。

＜SANE-J 認定制度について＞

本プログラムは、一般社団法人日本フォレンジック看護学会日本版性暴力対応看護師（Sexual Assault Nurse　Examiner-Japan：SANE-J）認定制度に受験に必要とされる教育カリキュラムに沿っており、修了認定者は受験申請が可能となります。詳しくは、一般社団法人日本フォレンジック看護学会ホームページをご確認ください。

＜https://jafn.jp/?page_id=1990＞

10）出席状況について

各講義の遅刻・早退は 30 分未満とし、それを超える場合は欠席と見なします。**2 日を超えて欠席する場合には、履修証明書および SANE 修了証は発行されません。**欠席が 2 日以下であり履修証明書および SANE 修了証を希望する場合には、別途、ビデオ視聴の上でレポート課題などが課せられる予定です（**一部、振替不可の講座もあります**）。

11）修了試験の内容について

各単元での小テストの実施、また、講義全体の中で SANE 実践に向けての行動計画（病院拠点型ワンストップ支援センター（OSC）設置に向けたアクションプランなど）を立案し、プレゼンテーションを実施します（変更の可能性あり）。内容をレポートにまとめ、講義担当教員が評価し、いずれも C 評価以上を修めることを修了要件とします。

【評価区分／A：90 点以上、B：80～89 点、C：70～79 点、D：70 点未満】

※詳細は受講決定後に配布する「受講の手引き」に記載します

12）担当事務局

日本福祉大学 FUKUSHI ACADEMY（SANE 養成プログラム事務局）

電話：052-242-3069（平日：10 時～17 時）／FAX:052-242-3020

E メール：recurrent@ml.n-fukushi.ac.jp

（詳細は 6 月上旬よりホームページに掲載予定）

■受講申込みについて （詳細は 6 月上旬よりホームページに掲載予定）

1）受講資格

主に社会人の方を対象とし、**大学入学資格を有する方で看護職**であることを原則とします

2）書類受付期間

2024 年 6 月 17 日（月） ～ 7 月 29 日（月） **必着**

※7 月 29 日時点で申込者数が定員に達していない場合は、書類受付期間を下記の通り延長します

8 月 5 日（月）**必着**

※郵送いただいた書類などは返送いたしませんので、お手元にコピー等を残して管理いただきますようお願いいたします

3）申込方法

①下記の書類一式を角型第 2 号封筒に入れ、郵送してください

②郵送の際は封筒の表面に「出願書類在中」と朱記してください。また封筒の裏面に、申込者の住所・氏名を記載してください

■書類送付先

〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35 名古屋キャンパス北館 1 階

日本福祉大学 FUKUSHI ACADEMY「SANE2024」係 宛

4）提出書類

① 受講申込書（所定の書式）…1 通

② 最終出身学校の卒業証明書または卒業見込証明書の原本 …1 通（開封厳禁）

③ 看護師（婦）免許証のコピー

④ 通信環境に関するアンケート(回答および提出必須)

■留意点

【②について】

・取寄せに時間がかかりますので、早めのご準備をおすすめいたします。

・卒業された後に、校名変更や合併・閉校等があった場合は学校の存続を確認のため、最新のものをお取り寄せいただく場合があります。

【③について】

・ 証明書、免許証が旧姓で記載されている場合は、①の申込書の旧姓欄に必ず記載ください。

5）選考料：無料

6）選考方法：申請書類に基づき選考します（応募者多数の場合、本養成プログラムの受講が業務上必要な方を優先して選考します）

7）受講者発表：2024 年 8 月 26 日（月）予定

※教育訓練給付金申請希望者については、各種手続きを 9 月 20 日（金）までにハローワークですすめていただく必要があります

■担当教員・講師紹介

■担当教員



長江 美代子（ながえ　みよこ）

日本福祉大学　福祉社会開発研究所　研究フェロー

一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター 副会長

精神看護専門看護師（American Nurses Credentialing Center：ANCC 認定）

公認心理師、日本版性暴力対応看護師 SANE-J

名古屋市立大学看護短期大学部看護学科卒業（1991 年）後、名古屋第二赤十字病院で 1996 年 12 月まで看護師として勤務。1997 年 8 月から The University of Illinois at Chicago, College of Nursing で看護学修士および博士（Ph.D）を取得した。2005 年帰国後は大学で精神看護学を担当する。そのかたわら、女性と子どものヘルプライン MIE とともに、DV 被害女性とその子どもの支援にかかわってきた。暴力被害者の PTSD 回復に取り組むにつれて性暴力被害の深刻さを知り、2016 年 1 月、名古屋第二赤十字病院（2024 年 4 月現在／日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院に名称変更）との協同により「性暴力救援センター日赤なごや なごみ」を立ち上げ、その運営にも関わっている。

■主任講師



片岡 笑美子（かたおか　えみこ）

一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンター 会長

日本版性暴力対応看護師 SANE-J

性暴力対応看護師（SANE:Sexual Assault Nurse Examiner）

1976 年名古屋第二赤十字病院（現：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）に就職。2005 年日本福祉大学大学院社会福祉学研究科福祉マネジメント修了、2006 年に看護部長、2010 年より副院長兼看護部長として 2017 年まで勤務。2014 年性暴力に関する講演を機にワンストップ支援センター設立に向けた活動を開始した。性暴力対応看護師（SANE）養成プログラム 2015 を受講し、2016 年 1 月に SANE を活用した病院拠点型の性暴力救援センター日赤なごやなごみ（以下なごみ）を開設した。SANE として活動しながら多機関多職種連携による性暴力被害者支援体制を整備し、人材育成、性暴力の教育啓蒙活動に取り組んできた。2019 年 6 月一般社団法人日本フォレンジックヒューマンケアセンターを立ち上げ、全国に病院拠点型ワンストップ支援センター設置拡充に向けて活動している。

■担当講師 （※担当教員、主任講師以外）

登壇日	講師・団体名	肩書
2024 年 10/5、10/6	中島 幸子	NPO 法人レジリエンス 代表理事
	西山 さつき	NPO 法人レジリエンス 代表理事
10/19	丸山 洋子	NPO 法人つなっぐ理事、名古屋市中央児童相談所主査、児童精神科医
	犬飼 千絵子	犬飼法律事務所 弁護士
	丹羽 咲江	咲江レディスクリニック 院長・産婦人科医
11/2	舘　理江	日本福祉大学　看護学部看護学科　助教
	田中 嘉寿子	東京高等検察庁 検察官
11/15、16	山田 不二子	認定 NPO 法人チャイルドファーストジャパン 理事長・医師
	斉藤 美紀	NPO 法人あいち CAP プラス 理事長・助産師
	今西 洋子	社会福祉士・修士（教育）
11/30	加納 尚美	茨城県立医療大学　学外共同研究員
	寺田　恵子	市立函館病院　看護部長
	坂本 理恵	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医療ソーシャルワーカー
	舩山 健二	新潟県立看護大学 講師
	木全 和巳	日本福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授
12/7	安間 優希	NPO 法人 PROUD LIFE 代表理事
	山田 浩史	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医師 性暴力救援センター日赤なごやなごみ 副センター長
	加藤 直子	医療法人葵鐘会ロイヤルベルクリニック 看護師長・助産師
	服部 律子	奈良学園大学 保健医療学部看護学科 教授
12/21	小笠原 和美	警察大学校 特別捜査幹部研修所長
	愛知県警察	刑事部 捜査第一課、鑑識課 等 担当者
	加藤 秀章	名古屋市立大学大学院医学研究科法医学分野 准教授
2025 年 1/18	笹原 艶子	かけこみ女性センターあいち 専従
	野口 靖之	愛知医科大学医学部 准教授
	奥川 ゆかり	椙山女学園大学看護学部看護学科 准教授　SANE
	他、演習担当講師	

※上記は予定であり、都合により変更になる場合があります

以上

■性暴力対応看護師(SANE)養成プログラム 2024　講義スケジュール(予定)

2024年4月現在

NO	講義日	実施形態	講	時間	担当	タイトル	授業内容	録	備考
1	2024年 10月5日(土)	オンライン	1	9:30-11:00	長江 美代子	性暴力被害者支援の基本理念と支援の在り方	オリエンテーション／フォレンジック看護の概要	○	
			2	11:10-12:40	片岡 笑美子		病院拠点型ワンストップ支援センターの現状と課題	○	
			3	13:40-15:40	NPO法人 レジリエンス	性暴力に関する基礎講座(SAFER101)、 DV被害について	DVと性暴力(SAFER101)	○	一般参加 あり
			4	15:50-17:20					
2	10月6日(日)	オンライン	1	9:30-11:00	NPO法人 レジリエンス	アタッチメントと解離、トラウマを理解する	トラウマを抱えた子どもたちの支援	○	
			2	11:10-12:40					
			3	13:40-15:40	NPO法人 レジリエンス	アタッチメントと解離、トラウマを理解する	トラウマを抱えた子どもたちの支援	○	
			4	15:50-17:20					
3	10月19日(土) (★)	オンライン	1	9:30-11:00	丸山　洋子	児童思春期の性被害対応とケア	児童相談所における性的虐待ケースの分析、脳への影響	○	
			2	11:10-12:40	犬飼 千絵子	性暴力と法律	関連法律の基礎:訴訟、法的補償、秘密、SANEに必要な法知識	○	
			3	13:40-15:10	犬飼 千絵子	性暴力と法律	関連法律の基礎:訴訟、法的補償、秘密、SANEに必要な法知識	○	
			4	15:20-16:50	丹羽 咲江	被害の影響	女性への暴力と医療／性教育の重要性について	○	
			5	17:00-**18:30**					
4	11月2日(土)	オンライン	1	9:30-11:00	舘　理江	フォレンジック看護の倫理	被害者のケアにおける職業的・倫理的行動	○	
			2	11:10-12:40	田中 嘉寿子	性暴力と法的検討事項	性犯罪捜査の問題点及び改正刑事法の解説	○	
			3	13:40-15:40	田中 嘉寿子	性暴力と法的検討事項	性犯罪捜査の問題点及び改正刑事法の解説	○	
			4	15:50-**17:40**					
5	11月15日(金) (★)	対面 (ウインク あいち)	1	9:30-12:30	NPO法人 チャイルドファースト ジャパン	アセスメントと支援 (子どもの性虐待の概要)	RIFCR™(リフカー)研修	×	一般参加 あり
			2						
			3	13:30-**19:00**	NPO法人 チャイルドファースト ジャパン	アセスメントと支援 (被害児の反応と危機介入、通告)	RIFCR™(リフカー)研修	×	一般参加 あり
			4						
5	11月16日(土) (★)	対面 (ウインク あいち)	1	9:30-12:30	NPO法人 チャイルドファースト ジャパン	アセスメントと支援 (子どもの性虐待の概要)	RIFCR™(リフカー)研修	×	一般参加 あり
			2						
			3	13:30-**19:00**	NPO法人 チャイルドファースト ジャパン	アセスメントと支援 (被害児の反応と危機介入、通告)	RIFCR™(リフカー)研修	×	一般参加 あり
			4						
6	11月30日(土)	オンライン	1	9:30-10:30	加納 尚美	地域機関との連携	多職種連携SARTチーム、日赤なごみにおける地域連携	○	
			2	10:35-11:35	寺田 恵子	SARTチームの実践		○	
			3	11:40-12:40	坂本 理恵	なごみにおける地域連携 ～多機関多職種でおこなう活動の実際～		○	
			4	13:40-15:10	舩山 健二	支援が行き届かない 性暴力被害者の理解	受刑者、高齢者、障害者、言語・コミュニケーションの 障壁を持つ対象者の心理社会的課題	○	
			5	15:20-17:20	木全 和巳	しょうがいとセクシュアリティ	女性への暴力の社会的背景と実態	○	
7	12月7日(土)	オンライン	1	9:30-11:00	安間 優希	ジェンダーの視点と多様な 心理社会的課題	支援が行き届かない 性暴力被害者の理解(LGBTIQ)	○	
			2	11:10-12:40					
			3	13:40-14:45	山田 浩史	支援が行き届かない性暴力被害者の理解	男性被害者の理解	○	
			4	14:55-16:00	加藤 直子	性教育の重要性 ～いのちを未来につなぐ～	SANE性教育の実際	○	
			5	16:15-17:20	服部 律子	若者の生と性を考える		○	
8	12月21日(土) (☆)	オンライン	1	9:30-11:00	小笠原和美	子どもを性被害から守る	性犯罪を取り巻く情勢の変化と警察への届出の意義	○	
			2	11:10-12:10	愛知県警察	支援の実際	警察の役割と対応	×	
			3	13:10-15:30	加藤 秀章	身体的アセスメント	医学的証拠採取、記録、性犯罪・DV、 SANEのフォレンジックアセスメント	○	
			4	15:40-**17:50**		法医学的証拠とケア	医学的証拠採取、記録、法医学的写真撮影		
9	1月18日(土) (☆)	オンライン	1	9:30-11:00	笹原 艶子	アセスメントと支援の実際	協働、社会資源、相談窓口	○	
			2	11:10-12:40	野口 靖之		性暴力被害者支援で必要とされる性感染症に 関わる基礎知識	×	
			3	13:40-15:40	奥川ゆかり	アセスメントと支援の実際	ケアと持続:演習	×	
			4	15:50-**18:20**					
10	1月19日(日)	オンライン	1	9:30-11:00	片岡　笑美子	支援の実際、まとめ、 今後にむけて	病院拠点型におけるSANE実践	○	
			2	11:10-12:40	長江　美代子				
			3			アクションプラン発表 (予定)	各課題の認識、共有および 今後の計画を報告		
			4						

★:対面での実施となります／☆:終了時間が17:20以降となります　　録:「×」は振替(講義録画)不可です

※上記は予定であり、変更する場合もあります

■性暴力対応看護師(SANE)養成プログラム 2024 シラバス

科目名	性暴力対応看護師（SANE）養成プログラム 2024	単位認定なし
担当教員	長江 美代子（日本福祉大学　福祉社会開発研究所　研究フェロー）	
テーマ	暴力・倫理・法にかかわる看護の課題 暴力を経験した小児／思春期／成人の対象に対するケア	
科目のねらい	＜キーワード＞ ①性暴力被害者　②全人的・包括的ケア　③クリティカルシンキング ④フォレンジック　⑤地域機関との連携 ＜内容の要約＞ ＤＶや性暴力被害者に、全人的･包括的なケアを提供するために必要な基本的知識とクリティカルシンキング能力を習得する。具体的には、フォレンジック看護、性暴力被害者のケアの背景、暴力の構造と性暴力の力学、被害者の反応と危機介入、アドボケイト、緊急医療処置、法医学に基づく臨床科学、法医学的既往の聴取法、地域機関との連携、中長期ケアとフォローアップについて学ぶ。討論、模擬事例、ロールプレイ、視覚的教材、体験学習を活用したスキルトレーニングを含む。 ＜学習目標＞ 1. 人のライフスパンにおける犯罪や倫理にかかわる課題への対応と実践を看護過程に組み込むことができる。 2. 性暴力に関連する被害の聴取をアドボケイトとして二次被害に配慮し、正確、客観的、簡潔に行うために必要なスキルを習得できる。 3. 被害者のケアに関与する多職種チームの中で、効果的に関わり協力するための基本的な知識を習得できる。 4. 被害者の生物学的証拠・痕跡証拠のニーズに対して、被害者中心のアプローチを提供する看護師の役割を説明できる	
授業の内容	①オリエンテーション／フォレンジック看護の概要(1.5 時間) ②病院拠点型ワンストップ支援センターの現状と課題（1.5 時間） ③DV と性暴力（SAFER101）(3.5 時間) ④トラウマを抱えた子どもたちの支援（6.5 時間） ⑤児童相談所における性的虐待ケースの分析、脳への影響（1.5 時間） ⑥関連法律の基礎：訴訟、法的補償、秘密、SANE に必要な法知識（3.0 時間） ⑦女性への暴力と医療／性教育の重要性について（3.0 時間） ⑧被害者のケアにおける職業的・倫理的行動（1.5 時間） ⑨性犯罪捜査の問題点及び改正刑事法の解説（5.0 時間） ⑩RIFCR™研修（8.5 時間）	

授業の内容	⑪多職種連携 SART チーム、日赤なごやなごみにおける地域連携（3.0 時間） ⑫受刑者、高齢者、障害者、言語・コミュニケーションの障壁を持つ対象者の心理社会的課題（1.5 時間） ⑬女性への暴力の社会的背景と実態（2.0 時間） ⑭支援が行き届かない性暴力被害者の理解（LGBTIQ）（3.0 時間） ⑮SANE 性教育の実際（2.0 時間） ⑯男性被害者の理解（1.0 時間） ⑰性犯罪を取り巻く情勢の変化と警察への届出の意義点、および警察の役割と対応（2.5 時間） ⑱医学的証拠採取、記録、性犯罪・DV　SANE のフォレンジックアセスメント ⑲医学的証拠採取、記録、法医学的写真撮影（⑱、⑲合わせて 4.5 時間） ⑳協働、社会資源、相談窓口（1.5 時間） ㉑性暴力被害者支援で必要とされる性感染症に関する基礎知識（1.5 時間） ㉒ケアと持続：演習（4.5 時間） ㉓病院拠点型における SANE 実践（3.0 時間） 〇その他、アクションプランの発表、修了試験（※）
時間数	講義：61 時間、演習：4.5 時間　　計 65.5 時間相当（※修了試験時間含まず）
事前学習の内容学習上の注意	テキストや配布物は講義予定の内容に該当する箇所を事前に読んでおく。 演習・講義には、質問・意見・感想を述べるなど、積極的に参加する。 学んだ理論を臨地におけるトピックスに適用し実践に生かす視点を持つ。
テキスト	フォレンジック看護（医歯薬出版）
参考文献	講義内で別途指示する
成績評価基準	65.5 時間分の出席および修了試験（※）の成績 （※）具体的には各講義終了後に小テスト（〇×形式 10 問など）と同時に、すべての講義終了時に SANE 実践に向けての行動計画（アクションプラン：例.パワーポイントで５枚程度）を立案し、プレゼンテーションを行う。その内容を講義担当教員が評価することで修了試験とする。いずれも C 評価以上を修めることを修了要件とする。（評価区分　A：90 点以上　B：80～89 点　C：70～79 点　D：70 点未満）
その他	日本福祉大学の履修証明書を発行（2024 年度は単位認定なし）および （一社）日本フォレンジックヒューマンケアセンターの SANE 修了証を発行する